

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。



財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝 野ノ夕奉中
埼玉県草加市稲荷5丁目



試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場84-9
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：クリホールダウンⅢ KHDⅢ-15・20・25 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：幅40mm, 長さ150mm, 厚さ3.2mmの鋼板添え板にコの字形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接接合したもの（図-2参照） 材質：添え板部；SPH 590, 下記の化学成分及び機械的性質を満足する。 化学成分；C (0.20%以下), Si (0.50%以下), Mn (1.60%以下) P (0.035%以下), S (0.035%以下) 機械的性質；引張強さ 590N/mm²以上 コの字形部；SPHC (JIS G 3131) 表面処理；ダクロタイズド処理</p> <p>2. 接合具 木ねじ；クリスパイラルビス7×65, 5本使用 長さ；65mm, ねじ部の長さ；50mm, ねじ部の外径；7mm 谷の径；4.6mm, ねじ山のピッチ；3.175mm, ねじ先の形状；とがり先 材質；SWCH18A (JIS G 3507-2) 表面処理；ダクロタイズド処理 アンカーボルト；六角ボルトM16×255mm, 材質；SWRM8 (JIS G 3505) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>3. 使用軸組 柱；樹種；すぎ, 寸法；105×105mm</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照；図-1及び図-2（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>短期基準引張耐力 (Pot) : 25.8kN</p> <p>耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-3及び図-4 破壊状況：写真-1～写真-6</p>
備考	当該試験結果は、平成12年建設省告示第1460号表三(り)に定める 25kN用引き寄せ金物（必要耐力25.0kN）に該当する。
試験期間	平成19年10月 3日
担当者	構造グループ 試験監督者 川 上 修 試験責任者 室 星 啓 試験実施者 渡 辺 一, 高 橋 慶 太
試験場所	中央試験所